

障全協／コロナ禍による障害者・家族への影響調査 回答概要 (2020.12.15現在)

単純集計の速報値

問1 都道府県

北海道	6	◆
青森	0	
岩手	2	◆
宮城	1	◆
秋田	0	
山形	0	
福島	5	◆
茨城	3	◆
栃木	2	◆
群馬	3	◆
埼玉	217	◆
千葉	17	◆
東京	127	◆
神奈川	81	◆
新潟	1	◆
富山	4	◆
石川	0	
福井	0	
山梨	0	
長野	56	◆
岐阜	1	◆
静岡	60	◆
愛知	62	◆
三重	14	◆
滋賀	3	◆
京都	53	◆
大阪	504	◆
兵庫	92	◆
奈良	6	◆
和歌山	2	◆
鳥取	0	
島根	1	◆
岡山	1	◆
広島	42	◆
山口	1	◆
徳島	0	
香川	11	◆
愛媛	13	◆
高知	1	◆
福岡	59	◆
佐賀	0	
長崎	3	◆
熊本	34	◆
大分	2	◆
宮崎	0	
鹿児島	9	◆
沖縄	2	◆
無回答	1	
合計	1502	

37都道府県

問2 回答者

障害者本人	296	20%
家族	1206	80%
合計	1502	100%

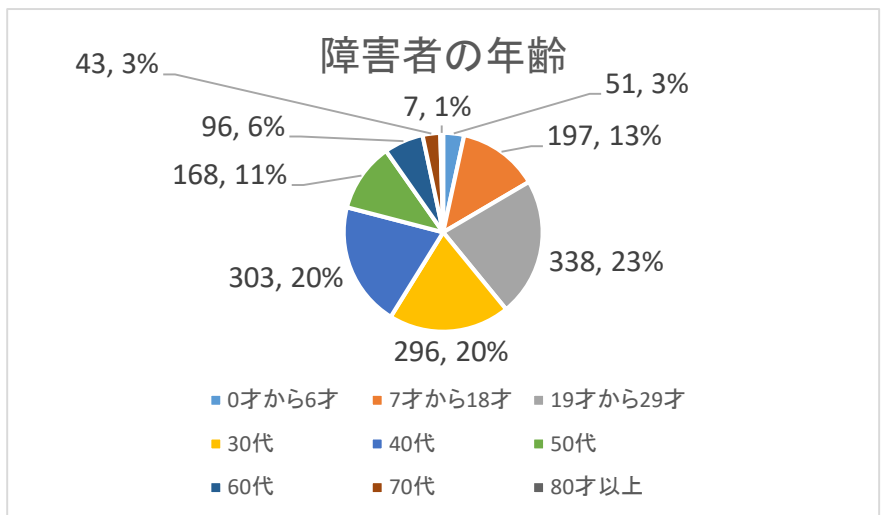
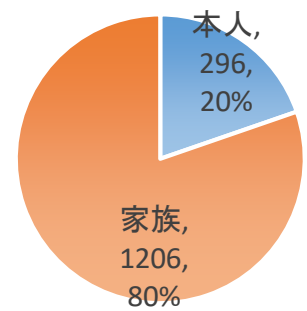
全体の回答者数

1502

問3 障害者の年齢

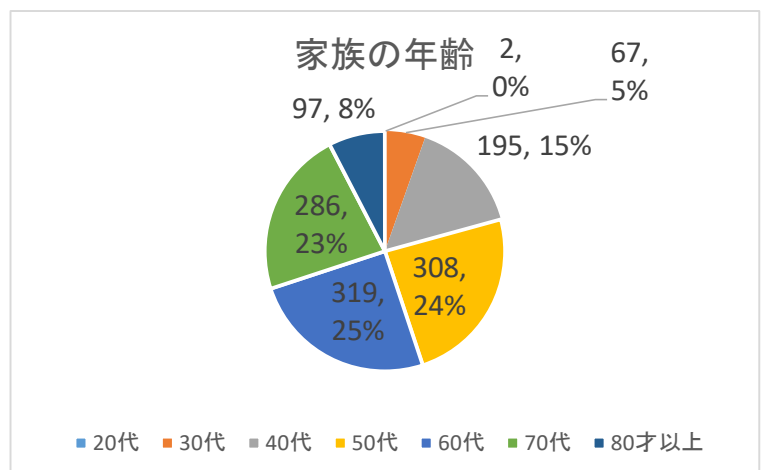
0才から6才	51	3%
7才から18才	197	13%
19才から29才	338	23%
30代	296	20%
40代	303	20%
50代	168	11%
60代	96	6%
70代	43	3%
80才以上	7	0%
合計	1499	100%

回答者



問4 家族の年齢

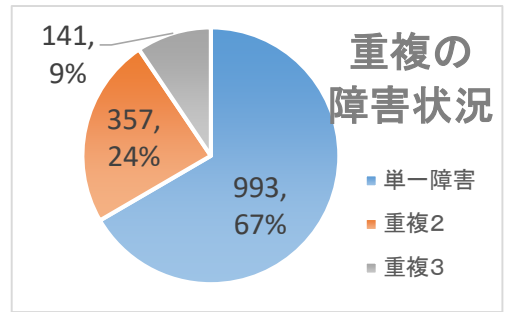
	全体		家族の回答	
20代	2	0.1%	2	0.2%
30代	67	4.5%	63	5.2%
40代	195	13.0%	192	15.9%
50代	308	20.5%	294	24.4%
60代	319	21.3%	292	24.2%
70代	286	19.1%	257	21.3%
80才以上	97	6.5%	69	5.7%
無回答	227	15.1%	36	3.0%
合計	1501	100.0%	1205	100.0%



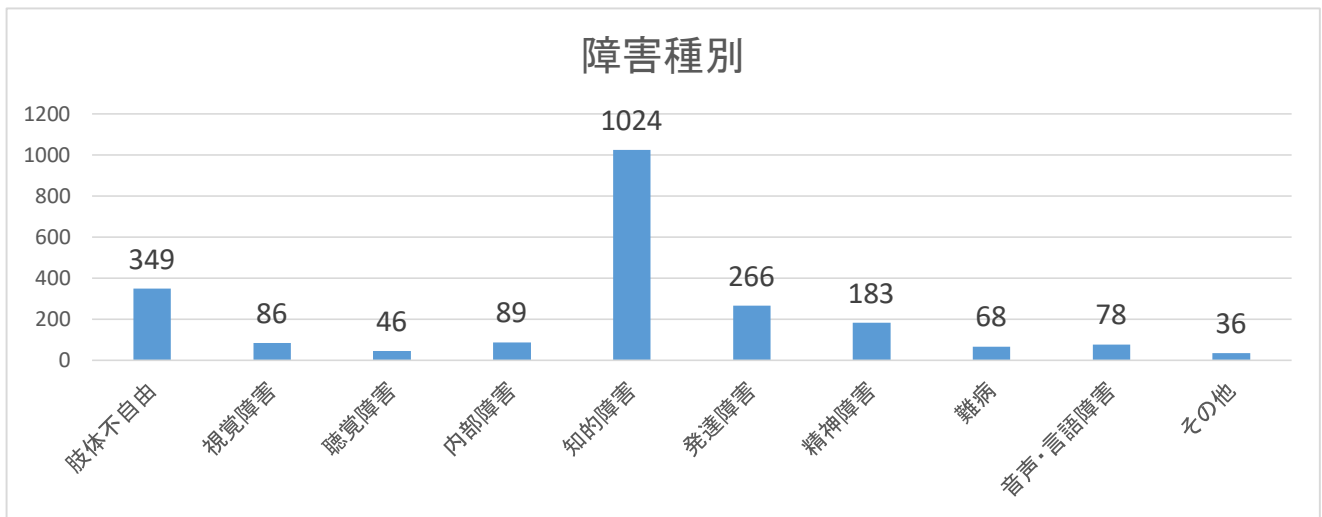
問5 障害種別

肢体不自由	349
視覚障害	86
聴覚障害	46
内部障害	89
知的障害	1024
発達障害	266
精神障害	183
難病	68
音声・言語障害	78
その他	36
合計	2225

16%	身体障害	648	29%
4%	知的障害	1024	46%
2%	精神障害	449	20%
4%	難病	68	3%
46%	その他	36	2%
12%	合計	2225	100%
(複数回答)			
3%	単一障害	993	67%
4%	重複2	357	24%
2%	重複3	141	9%
100%	合計	1491	100%

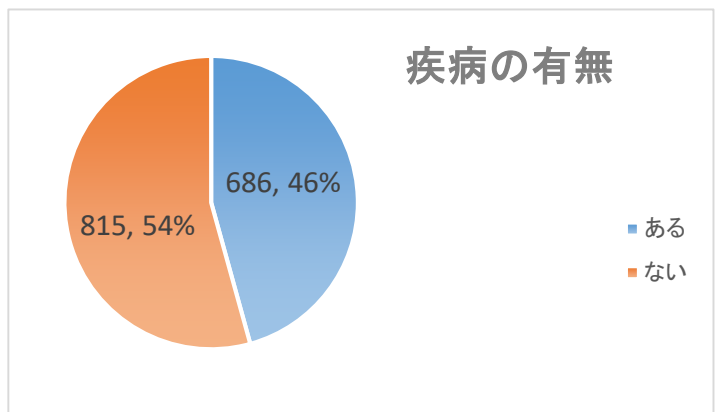


その他の障害
○クラインフェルター症候群



問6 疾患等

ある	686	46%
ない	815	54%
合計	1501	100%

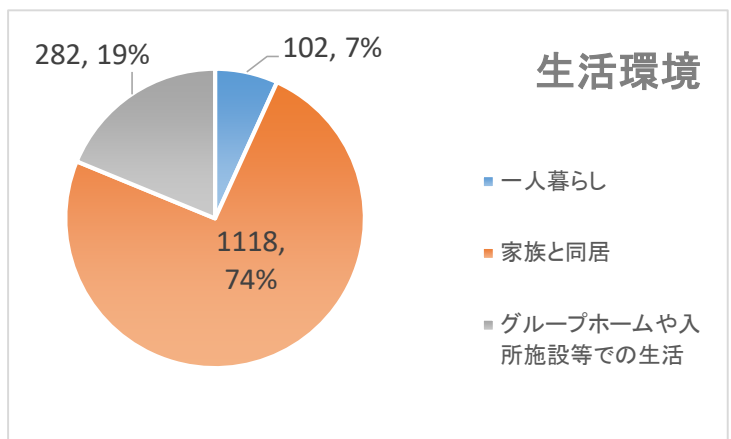


疾病名
○プラダーウィリー症候群
○ダウン症、心臓病
○陳急性心筋梗塞、狭心症、心不全など
○糖尿病、心不全
○高血圧と糖尿病の初期予防の為
○統合失調症
○頸椎症
○メニエル病
○脳脊髄液減少症

問7 生活環境

一人暮らし	102
家族と同居	1118
グループホームや入所施設等での生活	282
合計	1502

7%
74%
19%
100%



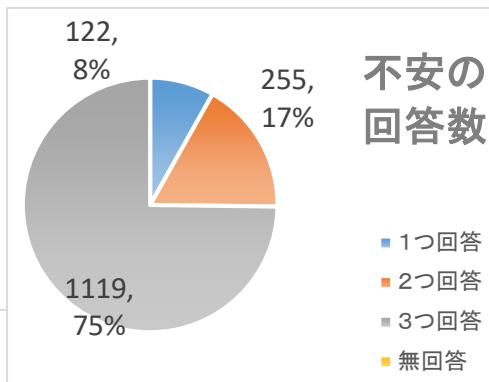
問8 どんなことを不安に感じますか？

①感染予防への不安	563	14%
②感染する不安(障害者本人、家族を含む)	1285	32%
③体調管理・健康面の不安	536	13%
④収入等・金銭面への不安	182	5%
⑤外出できないことの不安	338	8%
⑥外出することの不安	559	14%
⑦サービスが利用できなくなる不安	480	12%
⑧その他	69	2%
合計	4012	100%

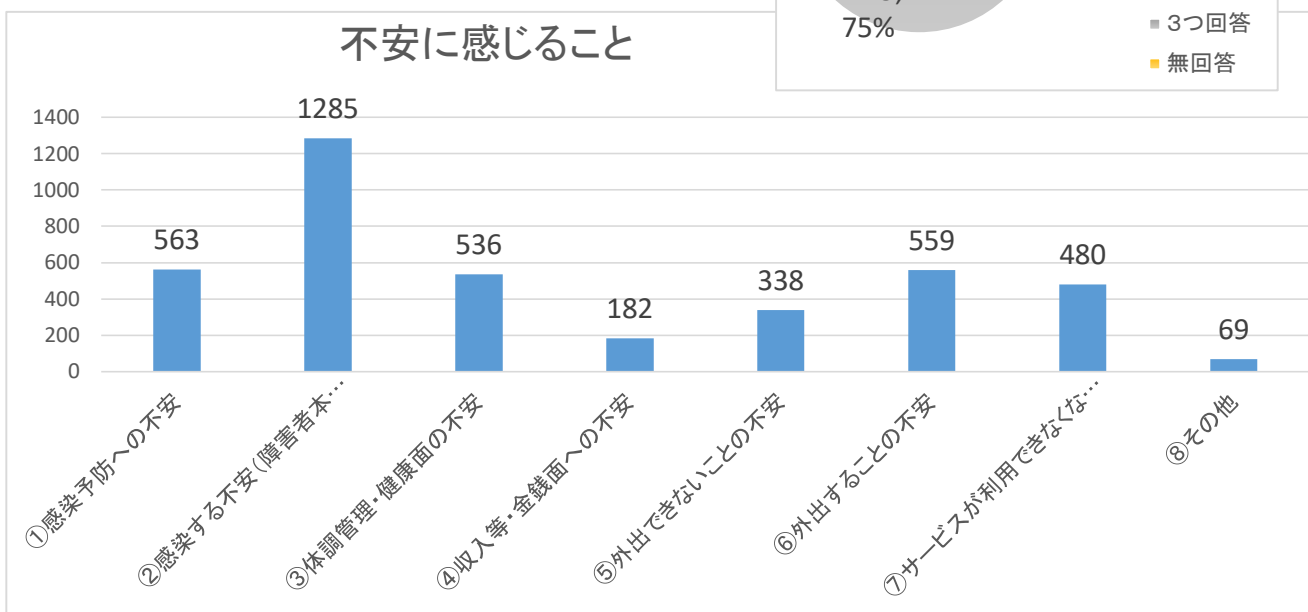
①感染予防への不安	14%
②感染する不安(障害者本人、家族を含む)	32%
③体調管理・健康面の不安	13%
④収入等・金銭面への不安	5%
⑤外出できないことの不安	8%
⑥外出することの不安	14%
⑦サービスが利用できなくなる不安	12%
⑧その他	2%

(複数回答3つまで)

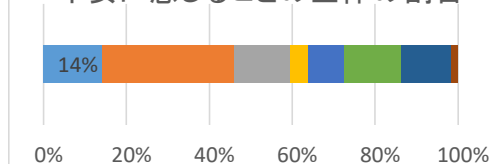
1つ回答	122	8%
2つ回答	255	17%
3つ回答	1119	75%
無回答		0%
合計	1496	100%



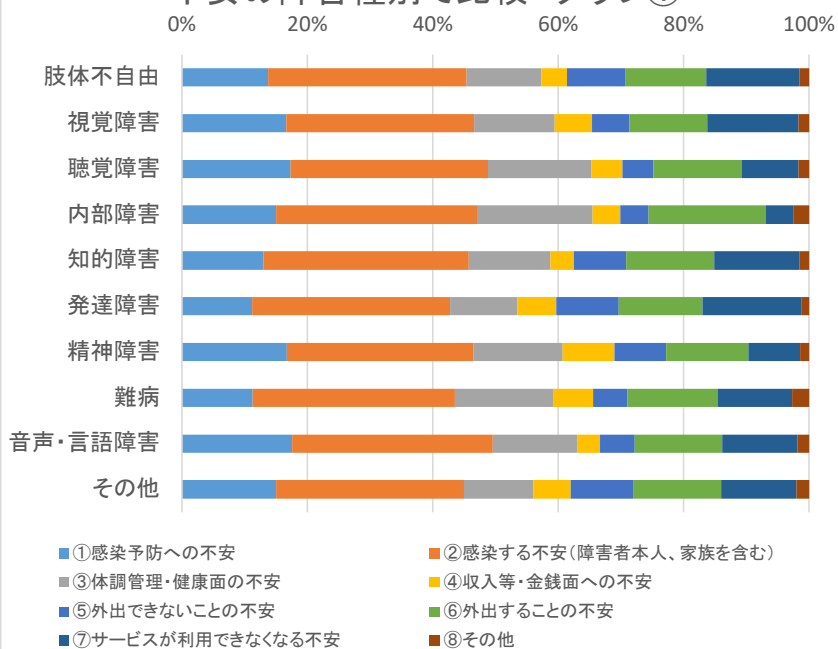
不安に感じること



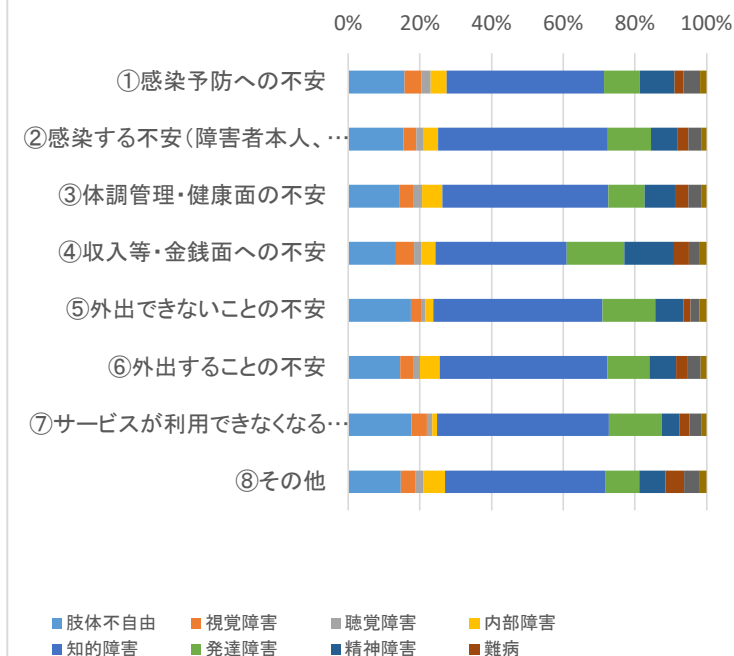
不安に感じることの全体の割合



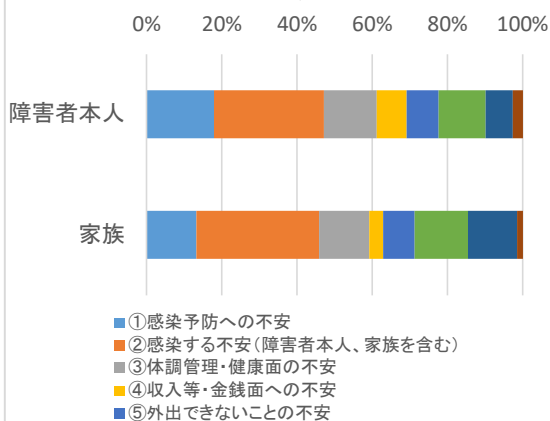
不安の障害種別で比較 グラフ①



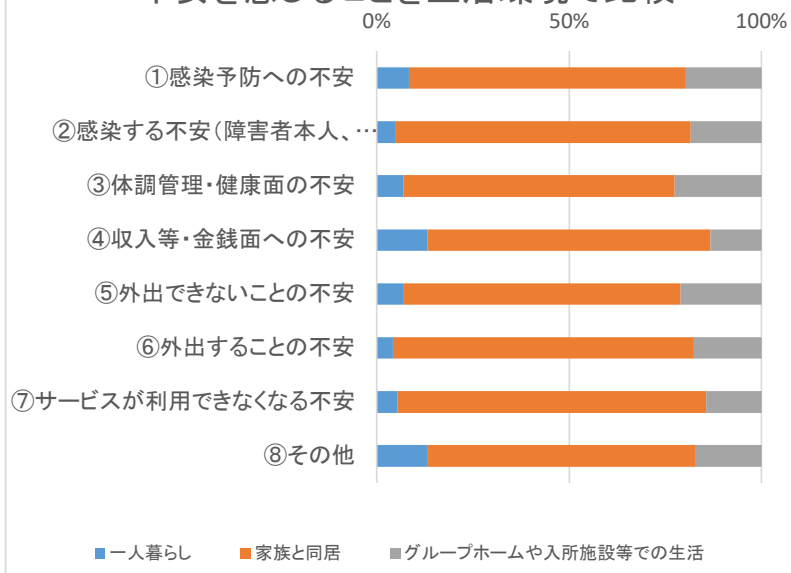
不安の障害種別で比較 グラフ②



不安を感じることを回答者で比較



不安を感じることを生活環境で比較



その他(コロナ禍の不安)

学習面

近所からのいたずら通報

呼吸器疾患があるから余計に不安

学校があつたりなかったりで、生活リズムが安定せず、本人が不安がることへの不安

肺炎で入院を断られ、家族が介護休暇を取るしか無かった。

病院へカウンセリングに行けない。行政手続き

学校がいつまで休校になるのか

万一、自分(障害当事者)が感染した場合、十分な医療体制・看護体制の下で治療せいかつをいとなむことができるのか生活を営むことができるのか

特にありません

外出後の不安

長時間自宅にいることで起こる本人と家族のイライラ

ヘルパー事業所が休業

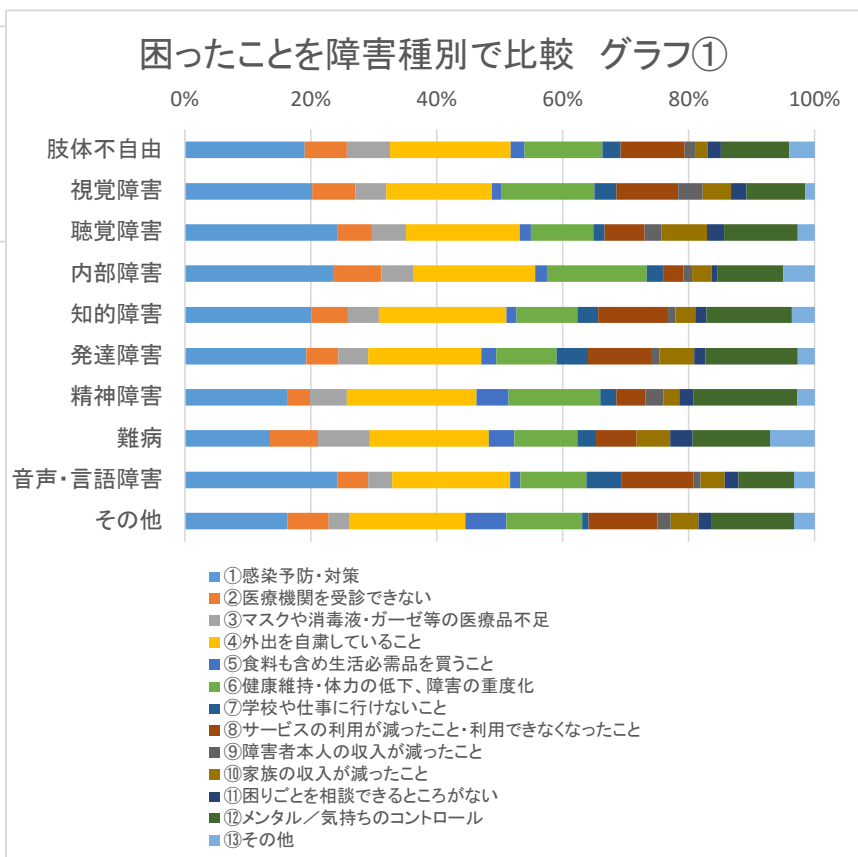
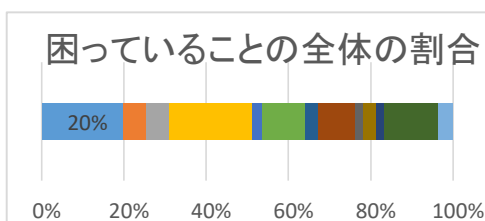
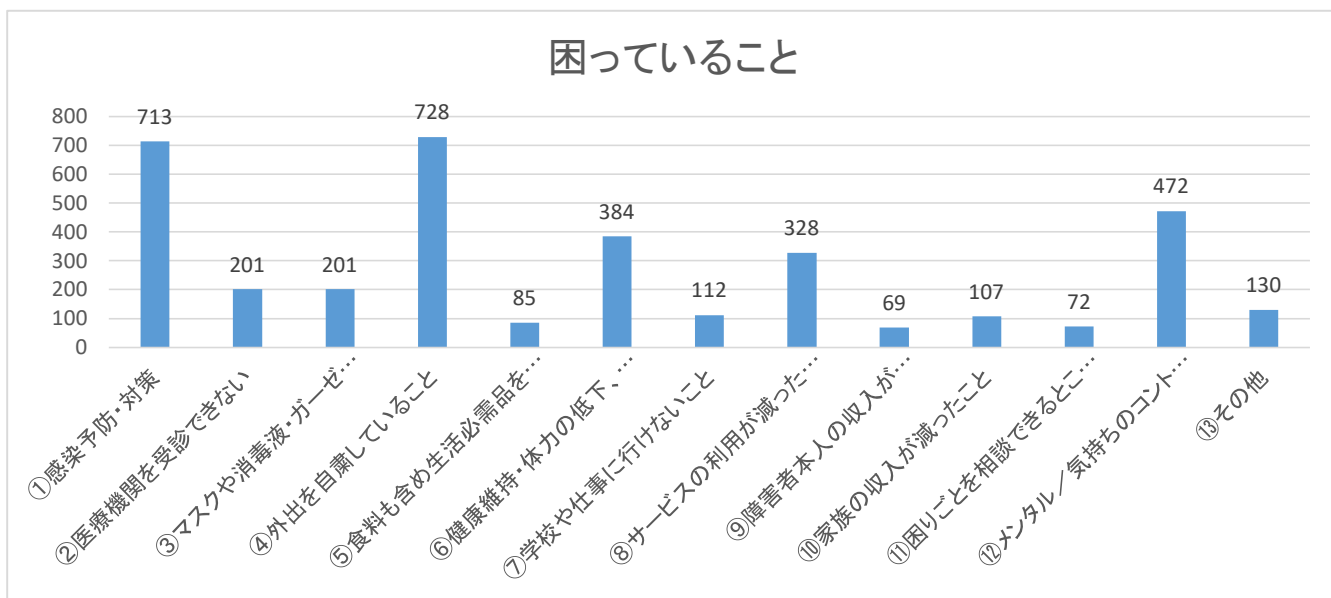
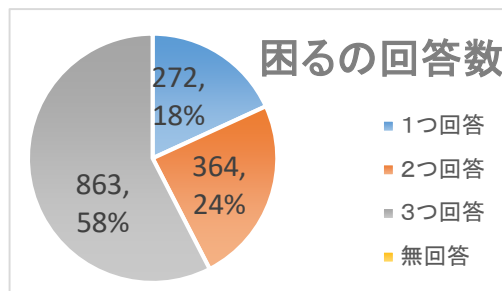
人とのつながりが薄くなり自分の存在感も薄くなると感じる不安

問9 コロナ禍で困っていることは何ですか？

(複数回答3つまで)

①感染予防・対策	713	20%
②医療機関を受診できない	201	6%
③マスクや消毒液・ガーゼ等の医療品不足	201	6%
④外出を自粛していること	728	20%
⑤食料も含め生活必需品を買うこと	85	2%
⑥健康維持・体力の低下、障害の重度化	384	11%
⑦学校や仕事に行けないこと	112	3%
⑧サービスの利用が減ったこと・利用できなくなった	328	9%
⑨障害者本人の収入が減ったこと	69	2%
⑩家族の収入が減ったこと	107	3%
⑪困りごとを相談できるところがない	72	2%
⑫メンタル／気持ちのコントロール	472	13%
⑬その他	130	4%
合計	3602	100%

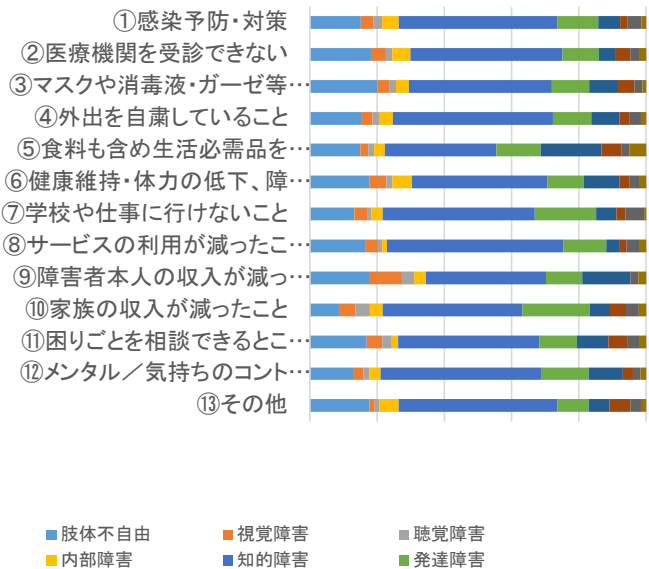
1つ回答	272	18%
2つ回答	364	24%
3つ回答	863	58%
無回答		0%
合計	1499	100%



困ったことを障害種別で比較 グラフ

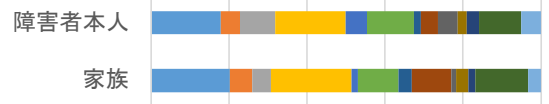
②

0% 20% 40% 60% 80% 100%



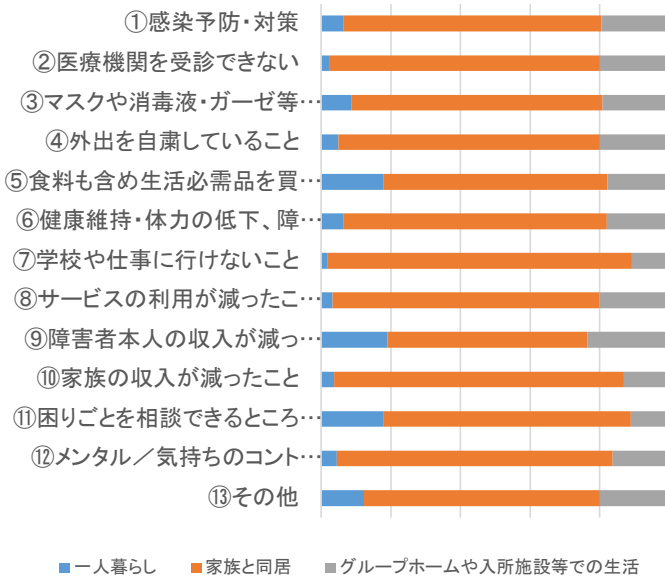
困ったことを回答者で比較

0% 20% 40% 60% 80% 100%



困ったことを生活環境で比較

0% 20% 40% 60% 80% 100%



その他(コロナ禍で困っていること)

コロナ重症患者を多く受け入れている病院なので、頸椎症性脊髄症のオペが延期となったが、漸く8月4日にオペすることになった

マスクをしているととても息苦しい

全く外出が出来ない訳ではないが、本当に行きたい所には行けない。

外出は自粛しているが、いざ外出になると、マスクをつけたり出先での対応に困る。

親が感染した時、本人が感染した時の預かる場所や本人が1人で入院する事が出来ない事で

通所、リハビリに行けない

学校での友人との会話の制限

入院療養中の父の様子がわからず、そのこともあって母が鬱状態になった

障害を持つ兄弟が居るのでどちらの対応も不足

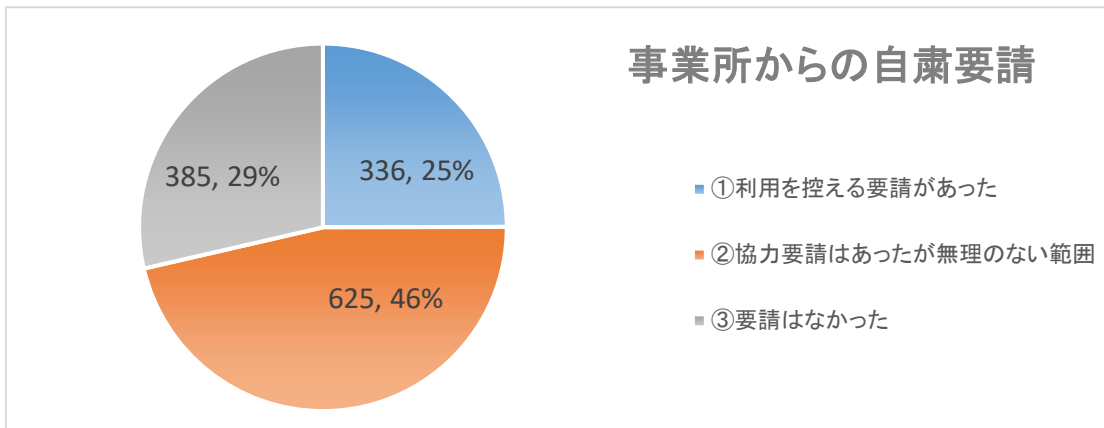
家族との面会や帰省ができないこと

問10 利用しているサービス事業所から自肅要請はありましたか？

①利用を控える要請があった	336
②協力要請はあったが無理のない範囲	625
③要請はなかった	385
	利用者計 1346
サービス利用していない人	156
	合計 1502

25%
46%
29%

71%

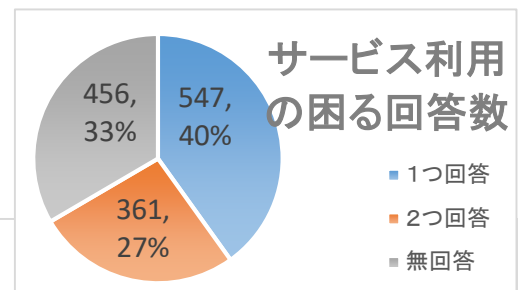


問11 サービス利用で困っていることは何ですか？

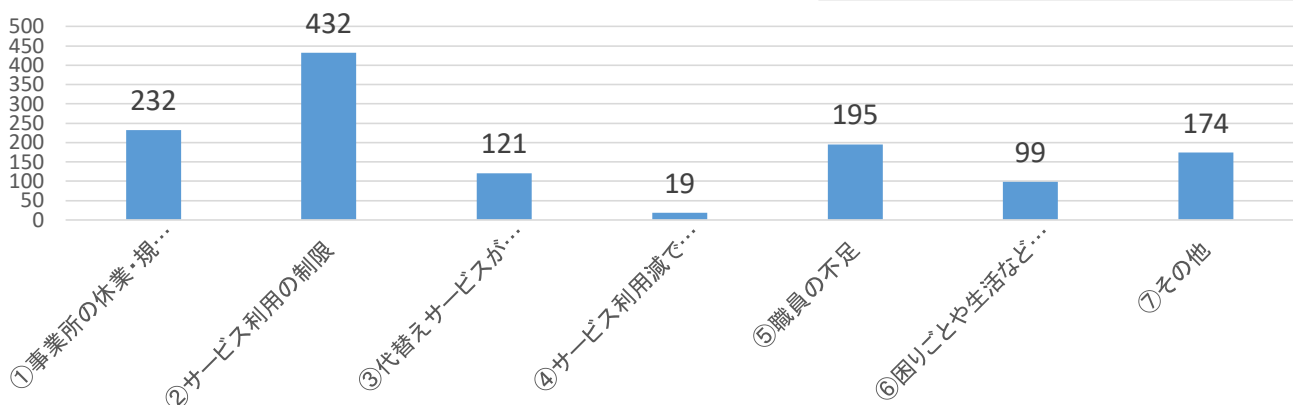
(複数回答2つまで)

①事業所の休業・規模縮小	232	18%
②サービス利用の制限	432	34%
③代替えサービスが見つからない	121	10%
④サービス利用減で生活ができない	19	1%
⑤職員の不足	195	15%
⑥困りごとや生活などの相談ができない	99	8%
⑦その他	174	14%
	合計 1272	100%

1つ回答	547	40%
2つ回答	361	26%
無回答	456	33%
合計	1364	100%



サービス利用で困っていること



その他の回答(サービス利用で困っていること)

(放デイ・日中一時支援を利用)利用人数やスタッフの人数がわからない。感染予防対策がわからないので不安。

室内遊びしかできない。バリエーションがないから、子どもが飽きてくる。

ヘルパーの確保

要介護度2ですけれど、一回あたりの時間が短い。

就Bのテレワーク

コロナが怖くてサービス利用を控えるとストレスがたまり、それはそれで病気になりがち。

サービス内容の変更通常使用できる施設(プールなど)が利用できない

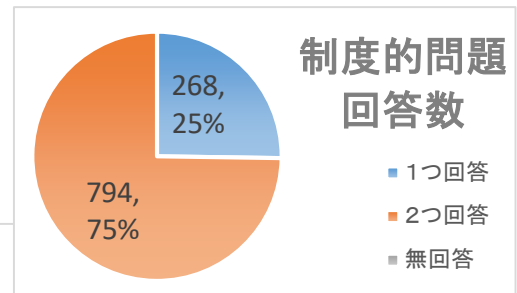
本人が理解できずに自傷がでている。

問12 コロナ禍における障害福祉サービスの制度的問題を感じた点

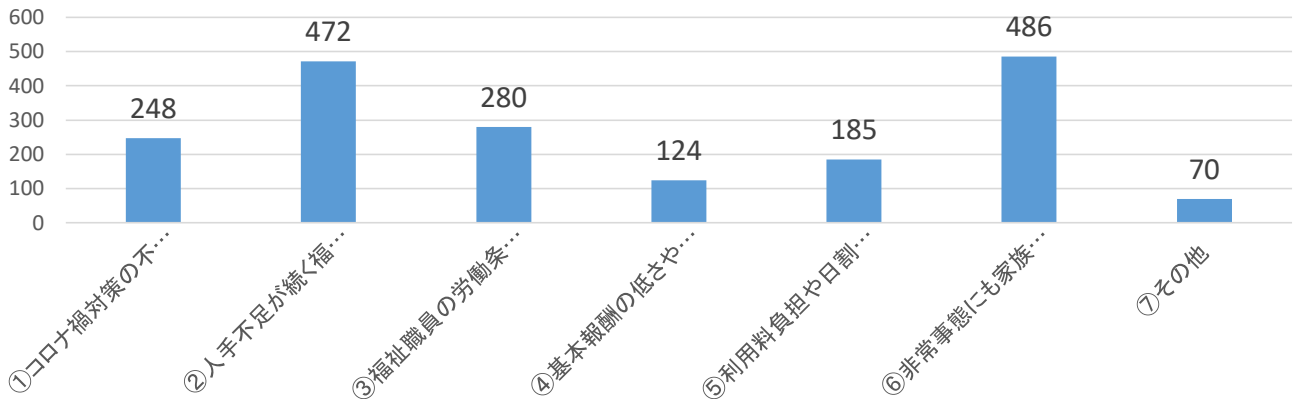
(複数回答2つまで)

①コロナ禍対策の不十分さ	248	13%
②人手不足が続く福祉制度のあり方	472	25%
③福祉職員の労働条件・処遇の悪さ	280	15%
④基本報酬の低さや加算方式の問題	124	7%
⑤利用料負担や日割り単価・障害支援区分等の障	185	10%
⑥非常事態にも家族介護・家族責任が求められる	486	26%
⑦その他	70	4%
合計	1865	100%

1つ回答	268
2つ回答	794
無回答	
合計	1062



コロナ禍の中での制度的問題点



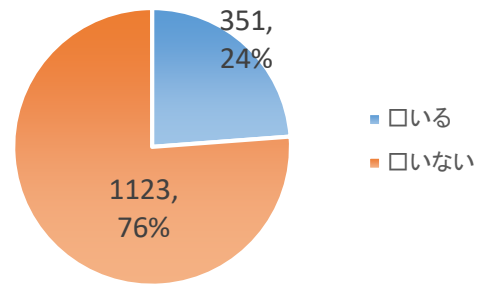
その他の回答(コロナ禍の制度的問題)

- ヘルパーさんの待遇を厚労省は考えていないと思う。
- 電車やバスを使うと感染リスクがあるためタクシーを利用しているが金銭面での負担が大きい
- 代換えサービスがなく行き場を失った
- コロナで亡くなった時 離れて生活してる家族に遺骨を届けて貰えるかなあ??と
- 自粛期間中(休校中)の、水筒を毎回持参であった点。紙コップでも、水分の提供をして欲しかった。
- デイサービス事業者が、利用自粛中の家族に対していろいろ考えてくださり、テレビ電話支援をしてくれたのがありがたかったですが、それが市町村の方で代替サービスとして認められるのかどうかなど、不明確な点が多かったようで、苦勞されていた。いち早く動いてくれる事業者に対し、市町村は早めの決定をしてほしい。
- コロナ禍とは言えないかもしれないけれど、事業所側が居宅に入る人を無駄な空きが出ないようにと簡単に变更后来たのだが、人の支援はそう簡単にはいかない。人が変わるとまた一から関係を築いていく労力がかかることを事業所側には知ってほしい。
- 自粛して在宅サービスを受けたがそれに対して利用者の料金が発生しているのはおかしい
- こんな状況なので特別に時間数を10時間ぐらい増やして欲しい
- 全面面会禁止でリハビリの権利が制限される
- 力不足ですみませんの一言で、1年半利用していた放課後等デイサービスの利用を解除された。
- 極端な面会制限など、入居者、家族の負担増
- そもそも障害者を人間としてカウントしていない
- まだ、そこまで追い込まれてないが、万が一の対応に困るだろう。
- ⑥の家族介護は不安はあるが、それが、即制度の脆弱性とは思わない。方法は有ると思う。
- 遠隔通訳に限界がある
- 一人でも施設で感染者が出た場合、全てが心配
- 地方なので、今の所利用サービスに対してコロナの影響はひどくありません。

問13 ご家庭で感染者が出た場合、障害者の介助を代わりにしてくれる人等はいますか？

□いる	351	24%
□いない	1123	76%
合計	1474	100%

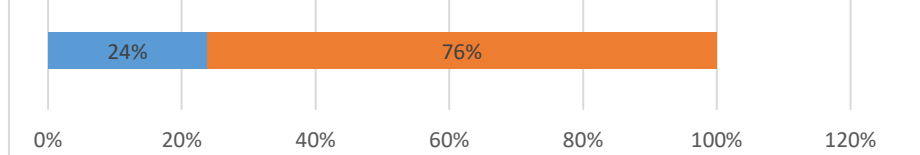
変わってもらえる
介助者の有無



◆障害者の年齢別にみる介助の代わりのある・なし

	いる		いない	
0才から6才	24	47%	27	53%
7才から18才	52	26%	144	73%
19才から29才	61	18%	274	81%
30代	72	24%	217	73%
40代	70	23%	226	75%
50代	37	22%	127	76%
60代	17	18%	74	77%
70代	14	33%	28	65%
80才以上	4	57%	3	43%
合計	351	23%	1120	75%
総計			1471	

介助を代わりにしてくれる人がいるかの全体の割合



介助を代わりにしてくれる人がいるかを
障害者の年齢で比較

